

## 岸田典大さんの絵本パフォーマンス

5月10日、町民センターにて絵本パフォーマンス・岸田典大さんによる絵本パフォーマンスが行われ、幼児から小学生、保護者など40名の参加がありました。本事業は第67回こどもの読書週間に合わせ、北海道立文学館の後援により行われたもので、岸田さんは5年ぶり4度目の来町となりました。

音楽に合わせた読み聞かせのパフォーマンスに、参加者は楽しい絵本の時間を過ごしていました。



## 令和7年の田植えが始まりました

5月13日、今金町で今年の田植えが始まりました。

この日、町内鈴岡地区の農家、吉本辰也さんの水田では「ゆめびりか」の苗が、田植え機で次々と植えられていきました。

今金町では137戸の農家が米を作っており、「ゆめびりか」の他に「ふっくらんこ」「ななつぼし」等のブランド米を中心に、田植えが始まります。

全国的な米不足から需要が非常に高まっている昨今、豊作だった昨年と同様に多くの収量が期待されます。



## 種川小学校交通安全教室



4月24日、種川小学校にて交通安全教室が行われました。今金町交通安全指導員2名、せたな警察署及び今金交番から3名が協力し、15名の児童が正しい自転車の乗り方や道路の横断の仕方を学びました。

当日は少し肌寒い天気でしたが、児童たちは指導員や先生からの指導をしっかりと実践してコースを回りました。また、自転車で参加した児童は、全員がヘルメットを着用しており、安全意識の高さが感じられました。

## 今金探訪



5月11日、今金オリエンテーション「今金探訪」が開催されました。

この事業は教育委員会が主催し、新しく町内に来られた方を中心に広く町民に呼びかけ、町内の主要な施設の紹介や町の歴史、見どころなどを知ってもらうとともに、参加者同士の交流のきっかけづくりとして行われました。

当日は19名の参加があり、今金町総合体育館をバスで出発したあと、神丘、田代、種川、住吉、中里、花石、美利河の各地区を巡り、町内の様子や地区の成り立ち、遺跡や歴史的名所について町教育委員会の学芸員が紹介しました。

参加者からは「普段見ることのないような場所について知ることができてよかった」などの感想がありました。

今月の特集

行政情報

各種情報

まちの話題

情報かわら版

まちの行事予定

学びの道標へ

## 田植え体験授業

5月16日、八鈴の宮北誠市さんの田んぼにて、今金小学校5年生の田植え体験の授業が行われました。

児童達は裸足になって田んぼに入り、泥だらけになりながら「ふっくりんこ」の苗を一つ一つ丁寧に植えていきました。足元の泥に足をとられて苦労をしながらも、みんな笑顔で作業を楽しんでいました。

この日に植えられた「ふっくりんこ」は、秋に児童達が収穫作業を行ない、授業で食べる予定となっています。



## 交通安全指導とひまわりの絆プロジェクト



5月16日、認定こども園いまかねにて、今金町交通安全指導員会とせたな警察署の協力のもと、交通安全指導が実施されました。園児たちは、横断歩道の安全な渡り方を教わったあと、実際の横断歩道を使って体験しながら学びました。

また、「ひまわりの絆プロジェクト」の一環として、せたな警察署からこども園にひまわりの種が贈られました。これは平成23年に京都府内において交通事故で亡くなった、当時4歳の男の子が育てていたひまわりの種を育てることで、交通事故防止や命の大切さ、被害者支援への理解を深めることを目的に実施している取組です。

## 台風に備えましょう

(函館地方气象台)

毎年7月から10月にかけては、日本付近に台風が近づく時期となります。渡島半島付近に台風が接近、または通過する場合、暴風の恐れがあるのはもちろんのこと、活発な雨雲を伴うため広範囲に長時間にわたり大雨を降らせるおそれがあります。さらに台風が離れていても、北海道に前線がある場合には暖かく湿った空気の影響で大雨になることがあります。

このようにさまざまな災害をもたらす台風から命を守るため、以下のことに留意ください。



<渡島・檜山地方の防災気象情報>

### 事前に家の内外の備えを行う

- ・窓はしっかりと鍵をかけ、必要に応じて補強しましょう。また飛散しそうなものは前もって屋内に片づけておきましょう。
- ・非常持ち出し品（懐中電灯、携帯用ラジオ、救急用品など）や非常食（乾パンやクラッカー、レトルト食品、缶詰など）を事前に確認しましょう。

### 事前に避難場所の確認を行う

- ・学校や公民館など、避難場所として指定されている場所への避難経路を確認しましょう。

### 台風接近中は不要な外出は控え、危険な場所へは近づかない！

- ・不要な外出は避け、台風が過ぎ去るのを待ちましょう。また、海上や海岸付近では台風接近前から波が高くなり、台風が通過した後もしばらくは波が高いことが多いです。高波が収まるまで、海岸や岸壁に近づかないでください。